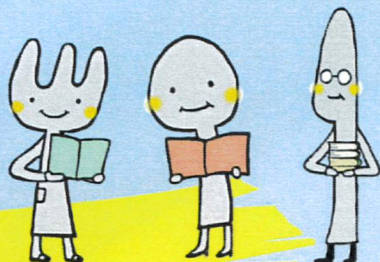


2025 SUMMER



おすすめの絵本



燕市の図書館から赤ちゃんとおうちのかたへ
おすすめの絵本をご案内いたします



本の検索や予約
図書館ホームページ



イベント情報
X (旧Twitter)



電子書籍
電子図書館



赤ちゃんにおすすめ絵本
燕市ホームページ

0さい~2さい向け



『おかおあらうのみーせて』

もりと いずみ//作 きくち ちき//絵 講談社

「おかお あらうの みーせて」かえるさん、あらいぐまん、ねずみさん、ぞうさん、そして女の子。みんなそれぞれ、上手にお顔を洗う姿を見せてくれます。ぱしゃっとなびく水しぶきが、なんだか涼やかで気持ちよさそう。ひとりひとり特徴のある、顔の洗い方にも注目です。



『ミケみっけ!』

北村 人//作、絵 ひさかたチャイルド

ねこのミケはおでかけ中。あれ?どこにいるのかな?かくれんぼを始めたミケを探す、参加型の絵本。ものかげに隠れたり、お花やボールのふりをしたり…。自由に遊ぶミケはとってもかわいくて、見つけてぎゅっと抱きしめたくくなります。「ミケみっけ!」と繰り返しながら、親子で楽しんでみて下さい。



『どうもろこしぬぐぞう』

はらしま まみ//作、絵 ポプラ社

葉っぱは服で、ひげは髪?!ばりばり、べりべり、ぶちっ!音を立てながら、どんどん勢いよく脱いでいく、「どうもろこしぬぐぞう」!豪快な姿に目が離せません。お店でどうもろこしを見つけるたび、どうもろこしぬぐぞうさんのことを思い出して、楽しい気分になれそう。ぜひ開いてみてほしい一冊です。

3さい～5さい向け



『星をつるよる』

キム・サングン//ぶん、え

すんみ//やく パイインターナショナル

眠れなくて、なんだか心細い夜。空から降りてきた星につかまって月へたどり着くと、そこには次々と眠れないお友達が集まってきて…。幻想的な青い空に広がる星々のまぶしさ、そして「ひとりぼっちじゃない」というあたたかさが、眠れない夜を照らしてくれます。



『カメレオンのかきごおりや』

谷口 智則//作 アリス館

色とりどりのシロップが自慢の、カメレオンのかきごおりや。お客さんひとりひとりに、ぴったりのかきごおりを手渡し、みんなを元気にします。そんなカメレオンが自信をなくしてしまったとき、見つけたのは新しい「色」。それは、私たちをどこへでも連れて行ってくれるかきごおり。ぜひ味わってみてください。



『ガンピーさんのふなあそび』

ジョン・バーニング//さく

みつよし なつや//やく ほるぷ出版

ガンピーさんのふねに乗りたい子どもたちや動物たち。ガンピーさんは「ふねに乗るときの約束」を伝えて、みんなを乗せていくのですが…結局、ふねは大さわぎに！そんな中でも、ガンピーさんのまわりには、おだやかな空気が流れています。「また いつかのりにおいでよ」優しい言葉が響きます。

おうちのかた向け



『すなのたね』

シビル・ドラクロワ/作 石津 ちひろ/訳 講談社

なんだか寂しい夏の終わり、サンダルからこぼれおちたのは、海の砂。この砂を種みたいにまいたら、何が出てくるかな…? 「すなのたね」から広がっていく、子どもたちの想像の世界が、美しく壮大に描かれています。お子さんの「思い出のたね」からは、どんなものが生まれるでしょう?



『虫ガール -ほんとうにあったおはなし-』

ソフィア・スペンサー/文

マーガレット・マクナマラ/文

ケラスコエット/絵 福本 友美子/訳 岩崎書店

虫が好きなことが原因で、いじめられるようになってしまった小さなソフィアが、ある出来事をきっかけにして、大きく羽ばたいていく様子を描いた実話です。ソフィアを支え、世界を広げた人々のように、どんなときも子どもの「好き」の気持ちを守れる大人でありたいです。



『えほんよんでどこへいきたい?』

服部 千春/さく こがしわ かおり/え

岩崎書店

モモは、お母さんの膝の上で聞く絵本が大好き。絵本を開けば、どんな世界でも行けて、誰にだってなれます。やがて妹ができたモモは、妹に絵本を読んであげたくなって…。読んでもらう嬉しさ、自分で読む楽しさ、読んであげる幸せ。「子どもと本を楽しむ」ということのすべてが、この絵本に詰まっています。